

県組合イベント★レポート

愛媛県酒造協同組合 主催

2012 EHIME JIZAKE FESTIVAL

愛媛の酒を楽しむ会



首都圏の日本酒ファンが、愛媛の銘酒と瀬戸内の佳肴を丸ごと満喫



日本酒ファン待望の試飲イベント「愛媛の酒を楽しむ会 2012」が、7月12日の午後、東京文京区の椿山荘で開催され、県下の蔵元19社が、流通・料飲向けの商談会&パーティの2部構成で、愛媛地酒のおいしさをPR。一般のファンを対象としたパーティでは、限定300名の参加者が約100銘柄の地酒とともに、俳聖・正岡子規も愛した鯛料理など瀬戸内の味覚をたっぷり堪能しました。



鯛のなます

一嘗三嘆！
子規が愛した
瀬戸内の鯛料理



鯛魚片

「愛媛の酒を楽しむ会」の開催は今年で4回目。商談会(13時～16時)とパーティ(19時～21時。参加費6000円)の2部構成は従来通りですが、今回は特に松山市が協賛してブースを出展。瀬戸内の鯛をその場で捌いて提供するという新趣向で参加者を楽しませました。



「しづく媛」で乾杯。上の写真は中城理事長(左)と山川副理事長



第2部のパーティの模様



の愛 酒媛 思いは愛媛路へ。参加者の旅心を誘った真夏の夜の饗宴

宴が始まると、参加者は料理と日本酒を囲んで歓談のひと時。各蔵のブースを回って蔵元と日本酒談義を交わしたり、松山市のブースで子規が愛した鯛料理(鯛鮓と鯛のなます)を味わったりして、豊かな愛媛の食文化を、心行くまで満喫。

会の最後には、出展蔵の日本酒や愛媛の産物部「商談会」の模様
 当る抽選会もあって、ある女性参加者は「愛媛は大好きな場所。今回のイベントでまたまた行ってみたくなりました」と、夏休みを前に、早くも旅心を募らせている様子でした。



パーティ開宴！坊ちゃんとマドンナがお出迎え



名物 銀鱈煮干



抽選会で大当たり！